

【福島県合同輸血療法委員会】

輸血に関するアンケート調査集計結果（2023 年度）【2025 年 7 月 18 日時点】

*参考：【 】内は2022年4月～2023年3月の調査結果

診療所版

1 調査対象施設等

- (1) 調査対象施設：県内の診療所 37 施設 【31 施設】
- (2) 調査対象期間：2023 年 4 月から 2024 年 3 月まで
- (3) 調査方法：アンケートへの依頼文書を郵送で送付し、福島県薬務課のホームページよりファイル (Excel 形式) でダウンロードし、記入したファイルをメールに添付した形で回収した。対応が困難な場合は、FAX 等で回収した。
- (4) 回収率：62.2% (23 診療所から回答) 【54.8% (17 診療所から回答)】

2 集計結果の概要（項目別）

◎集計結果の報告書を作成するにあたり、診療所名等を公開して良いか 【9 診療所 (52.9%)】

可：12 診療所 (52.2%)

I 輸血管理料取得状況について 【該当診療所なし】

0 診療所 (0.0%) [管理料 I：0 診療所、管理料 II：0 診療所]

II I & A 取得状況について 【該当診療所なし】

取得済：0 診療所 (0.0%)

III 輸血療法委員会等について

(1) 輸血療法委員会等の設置数 【2 診療所 (11.8%)】

2 診療所 (8.7%)

(2) 輸血療法委員会を設置しない理由（複数回答あり）

15 診療所

(指導医がない：7、他の委員会で協議：4、使用がほとんどない：15、その他：1)

(3) 輸血療法委員長の職種

医師（専門科目：腎臓内科 1）、看護師（専門科目：未回答 1）

(4) 輸血療法委員会の開催回数（回/年）

12 回/年：1、1 回/年：1

(5) -1 認定臨床輸血看護師、アフエレーシスナース、自己血輸血看護師、認定輸血検査技師人数（合計）

認定・臨床輸血看護師：0、認定・アフエレーシスナース：0、認定・自己血輸血看護師：0

認定・輸血検査技師：0、細胞治療認定管理師：0

(5) -2 (5) -1 のうち輸血療法委員会参加人数（医療施設数/輸血療法委員会有 2 施設）

認定臨床輸血看護師：0 (0/0) 認定・アフエレーシスナース：0 (0/0)

認定・自己血輸血看護師：0 (0/0) 認定輸血検査技師：0 (0/0)

(6) 血液センター職員のオブザーバー受け入れ状況

なし：7、未回答：16

IV 指針等について

(1) 輸血部門の設置数等（複数回答あり）

輸血部門：4 診療所（17.4%）【1 診療所（5.9%）】

{	検査部	3 件
	輸血部	0 件
	薬剤部	0 件
	その他	4 件

血液製剤保管場所（複数回答あり）

{	検査部	5 件
	薬剤部	4 件
	輸血部	0 件
	その他	14 件

(2) 自記温度計、警報装置の設置数等（複数回答あり）

自記温度計：12 診療所（52.2%）【10 診療所（58.8%）】

{	記録の頻度	毎日	8 件
		年に1回	0 件
		月に1回	3 件
		週に1回	2 件
		その他	2 件
		未回答	8 件

警報装置：10 診療所（43.5%）【9 診療所（52.9%）】

冷蔵庫・冷凍庫の保守点検の頻度 { 毎日 5 件、年に1回 5 件、月に1回 2 件、
週に1回 3 件、その他 2 件、未回答 6 件

(3) 他の管理項目等

1) 運搬容器の設置：4 診療所（17.4%）【3 診療所（17.6%）】

2) 輸血用血液製剤と血漿分画製剤の管理の一元化：2 診療所（8.7%）【2 診療所（11.8%）】

3) 管理記録簿等：22 診療所（95.7%）【17 診療所（100.0%）】

内訳（複数回答有）：コンピュータ管理：2、手書き伝票：14、両方：5、その他：1

(4) 輸血前の感染症検査の実施

全例：12 診療所、一部のみ：6 診療所、行っていない：4 診療所、未回答：1 診療所

1) 輸血前の感染症検査項目： HBV 15 件
HCV 16 件
HIV 5 件
HEV 0 件

(5) 輸血前の感染症検査用検体の保管等

全例：5 診療所（21.7%）、なし：15 診療所（65.2%）、未回答：3 診療所（13.0%）

(6) 輸血後の感染症検査の実施

全例：6 診療所、医師の判断による：8 診療所、行っていない：8 診療所、未回答：1 診療所

(7) 遡及調査ガイドラインで求められる検査項目の認知（複数回答あり）

HBV：11 診療所（47.8%）、HCV：11 診療所（47.8%）、HIV：8 診療所（34.8%）、
HEV：2 診療所（8.7%）、知らない：10 診療所（43.5%）

- (8) 大量輸血プロトコル (MTP) の実施
実施なし 22 診療所

V 輸血検査および輸血実施について

(1) 輸血検査担当者

日勤帯：検査技師 2 診療所、看護師 4 診療所、外注 13 診療所、医師・看護師 1 診療所、
外注・その他 1 診療所
夜勤帯：検査技師 2 診療所、看護師 2 単位、対応なし 13 診療所 その他 3 診療所

- (2) 患者血液型検査の二重チェック：10 診療所 (43.5%) 【6 診療所 (35.3%)】

(3) 不規則抗体スクリーニング

1) 輸血前不規則抗体スクリーニング：16 診療所 (69.6%) 【14 診療所 (82.4%)】

2) 間接抗グロブリン試験を含む検査法：14 診療所 (60.9%) 【12 診療所 (70.6%)】

3) 陽性となった場合の対応：

民間の検査センター	10 診療所
血液センター	7 診療所
自施設	1 診療所
民間の検査センター・血液センター	1 診療所

(4) 交差適合試験

1) 輸血前交差適合試験：19 診療所 (82.6%) 【17 診療所 (100.0%)】

2) 交差適合試験担当者

日勤帯：検査技師 2 診療所、看護師 2 診療所、外注 14 診療所、医師・看護師 1 診療所、
その他 1 診療所
夜勤帯：検査技師 2 診療所、看護師 1 診療所、対応なし 13 診療所、その他 2 病院

3) 輸血に先立つ3日以内の検体を用いて実施：20 診療所 (87.0%) 【17 診療所 (100.0%)】

4) 間接抗グロブリン試験を含む検査法：16 診療所 (69.6%) 【12 診療所 (70.6%)】

5) コンピュータクロスマッチの実施：7 診療所 (30.4%) 【4 診療所 (23.5%)】

6) 陽性となった場合の対応：

民間の検査センター	10 診療所
血液センター	6 診療所
自施設	2 診療所
民間の検査センター・血液センター	1 診療所

7) T & S (タイプアンドスクリーン) の実施：0 診療所 (0.0%) 【0 診療所 (0.0%)】

(5) 説明と同意 (インフォームド・コンセント) について (複数回答あり)

1) インフォームド・コンセントを担当する主な職種：

医師	19 診療所
看護師	1 診療所
医師・看護師	3 診療所

2)頻回輸血における同意書の取得頻度：

月1回	5診療所、2～3か月に1回	1診療所、
週1回	2診療所、3か月以上	1診療所、
取らない	5診療所、その他	9診療所

(6) 患者認証方法

- 1)ナースステーションにおいて複数名で確認している：23診療所（100.0%）
 【15診療所（88.2%）】
- 2)ベッドサイドで患者本人を確認している：23診療所（100.0%）【17診療所（100.0%）】
- 3)電子照合システム導入：1診療所（4.3%）【1診療所（5.9%）】

(7) FFP の融解について

- 1) 融解場所：病棟 2診療所、その他 2診療所
- 2) 融解方法：手作業 3診療所、その他 1診療所

(8) 経過観察

- 1)輸血開始後バイタルチェック：

開始時・5分・15分・終了後	14診療所（60.9%）
開始時・15分・終了後	1診療所（4.3%）
5分・15分	1診療所（4.3%）
開始時・終了後	3診療所（13.0%）
開始時	1診療所（4.3%）
15分	2診療所（8.7%）
終了後	1診療所（4.3%）
- 2)バイタルチェックの項目：

体温・血圧・脈拍・酸素飽和度	14診療所（60.9%）
体温・血圧・脈拍・酸素飽和度・その他	2診療所（8.7%）
体温・血圧・脈拍	3診療所（13.0%）
体温・血圧・脈拍・その他	1診療所（4.3%）
血圧・脈拍	2診療所（8.7%）
脈拍	1診療所（4.3%）
- 3)輸血終了後の継続的な患者観察時間：

30分～1時間	8診療所（34.8%）
1時間～2時間	9診療所（39.1%）
2時間～3時間	4診療所（17.4%）
3時間以上	2診療所（8.7%）
- 4)使用済み製剤バッグの保管期間：

保管していない	13診療所（56.5%）
輸血翌日	1診療所（4.3%）
2～数日間	4診療所（17.4%）
1週間以上	4診療所（17.4%）
その他	1診療所（4.3%）

VI 輸血用血液製剤使用状況について

血液製剤使用単位数合計 1, 325 単位

- (1) 赤血球製剤の使用量は 1, 121 単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は、84.6%である。
(2) 血小板製剤の使用量は 200 単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は、15.1%である。
(3) 血しょう製剤の使用量は 4 単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は 0.3%である。

VII 輸血用血液製剤廃棄状況について

血液製剤廃棄単位数合計 22 単位

【22 単位】

血液製剤の廃棄率は 1.6%である。

【2.3%】

(1) 赤血球製剤の廃棄量は 20 単位。(廃棄率 1.8%)

【18 単位】

(2) 血小板製剤の廃棄量は 0 単位。(廃棄率 0.0%)

【0 単位】

(3) 血しょう製剤の廃棄量は 0 単位。(廃棄率 0.0%)

【4 単位】

○輸血用血液製剤の在庫状況

輸血用血液製剤在庫有 0 診療所 【0 診療所】

VIII 輸血患者および輸血使用状況について

(1) 年代別及び男女別輸血状況について

輸血患者総数 253 人

90歳以上	10人 (4.0%)
80-89歳	33人 (13.0%)
70-79歳	42人 (16.6%)
60-69歳	18人 (7.1%)
50-59歳	18人 (7.1%)
40-49歳	2人 (0.8%)
30-39歳	3人 (1.2%)
20-29歳	2人 (0.8%)
10-19歳	0人 (0.0%)
5-9歳	0人 (0.0%)
0-4歳	0人 (0.0%)
年代不明	125人 (49.4%)

男性	126人 (49.8%)
女性	127人 (50.2%)

(2) 診療科別輸血状況 (回答医療施設数: 23)

内科全体数 223人

内科:	51人
消化器内科:	0人
循環器内科:	125人
呼吸器内科:	0人
血液内科:	0人
その他内科:	47人

外科全体数	0人
外科：	0人
消化器外科：	0人
呼吸器外科：	0人
心臓血管外科：	0人
形成外科：	0人
整形外科：	0人
脳神経外科：	0人
その他外科：	0人

その他診療科全体数	30人
小児科：	0人
産婦人科：	4人
泌尿器科：	0人
麻酔・集中治療科：	0人
精神科：	0人
その他：	26人

IX 自己血輸血について

自己血輸血実施診療所：該当診療所なし（0. 0%） 【該当診療所なし（0. 0%）】

○貯血式自己血輸血（液状保存）

実施症例数（同種血併用例）：0例（0例） 【0例（0例）】
 採血量（貯血量）：0単位 【0単位】
 使用量（輸血量）：0単位 【0単位】

○貯血式自己血輸血（凍結保存）

実施症例数（同種血併用例）：0例（0例） 【0例（0例）】
 採血量（貯血量）：0単位 【0単位】
 使用量（輸血量）：0単位 【0単位】

○回収式自己血輸血

使用量の管理部門での把握：

はい	0診療所
いいえ	1診療所
未回答	22診療所

 実施症例数（同種血併用例）：0例（0例） 【0例（0例）】
 使用量（輸血量）：0mL 【0mL】

○希釈式自己血輸血

使用量の管理部門での把握

はい	0診療所
いいえ	1診療所
未回答	22診療所

 実施症例数（同種血併用例）：0例（0例） 【0例（0例）】
 採血量（貯血量）：0単位 【0単位】
 使用量（輸血量）：0単位 【0単位】

X 血漿分画製剤使用状況について

アルブミン製剤合計：2, 019. 5g 【1, 098. 1g】
 フィブリノゲン製剤合計：0. 0g 【0. 0g】

XI 外来輸血および在宅輸血について

- (1) 外来輸血または在宅輸血実施
- | | | |
|---|----------|---------|
| { | 外来輸血 | 9 診療所 |
| | 在宅輸血 | 1 診療所 |
| | 両方 | 1 診療所 |
| | どちらも実施なし | 1 1 診療所 |
| | 未回答 | 1 診療所 |
- (2) 外来輸血後の患者観察
- | | | |
|---|-------|---------|
| { | 医療関係者 | 1 0 診療所 |
| | 未回答 | 1 3 診療所 |
- 在宅輸血後の患者観察
- | | |
|-------|-------|
| 医療関係者 | 2 診療所 |
|-------|-------|
- (3) 外来輸血または在宅輸血を実施している患者の主な診療科
- | | | |
|---|-------|-----|
| { | 血液内科 | 1 件 |
| | 消化器内科 | 1 件 |
| | 循環器内科 | 1 件 |
| | その他 | 9 件 |
- (4) 在宅輸血の実施者
- | | | |
|-----|--------------|-------|
| 看護師 | 1 診療所、医師・看護師 | 1 診療所 |
|-----|--------------|-------|
- (5) 疾患名・人数
- | | |
|-------|-----------------|
| 血液疾患 | : 1 件 (1 2 5 人) |
| 腎疾患 | : 6 件 (4 8 人) |
| 悪性腫瘍 | : 1 件 (1 人) |
| 消化管出血 | : 0 件 (0 人) |
| その他 | : 3 件 (2 人) |
- (6) 使用されている製剤の種類
- | | |
|--------|------------|
| 赤血球製剤 | : 6 6 6 単位 |
| 凍結血漿製剤 | : 0 単位 |
| 血小板製剤 | : 0 単位 |
- (7) 実施中または実施後の有害事象発生: 0 診療所
- (8) 外来輸血に対応した有害事象発生時のマニュアル: 4 診療所 (1 7. 4%) 【3 診療所 (1 7. 6%)】
- (9) 外来輸血実施後の院内での休憩時間
- | | | | |
|---|----------------|-------|---------|
| { | 3 0 分未満 | 1 診療所 | 【2 診療所】 |
| | 3 0 分以上 1 時間未満 | 5 診療所 | 【3 診療所】 |
| | 1 時間以上 2 時間未満 | 4 診療所 | 【3 診療所】 |
| | 2 時間以上 | 1 診療所 | 【1 診療所】 |
- (1 0) 外来輸血が必要とされる患者の紹介先が予め決まっている: 5 診療所 (2 1. 7%)
【4 診療所 (2 3. 5%)】
- (1 1) 輸血のみを診療目的とする患者の受入: 1 診療所 (4. 3%) 【1 診療所 (5. 9%)】

XII 製剤別購入量・廃棄量について

	購入量 (単位)	廃棄量 (単位)	廃棄率 (%)
赤血球製剤	1, 141	20	1.8
血小板製剤	200	0	0.0
血しょう製剤	4	0	0.0